

第 69 回全日本バレーボール高等学校選手権大会

男子 決勝 戦評

会場：CNAアリーナ★あきた

主審：三浦 敏弘 副審：菅原 駿輔

雄物川高等学校	3	25-10 25-14 25-13	0	秋田工業高等学校
---------	---	-------------------------	---	----------

試合時間 53分

戦評

22年連続の出場を目指す雄物川高校と2年ぶりの決勝の舞台となった秋田工業の一戦。第1セット、雄物川は序盤に佐藤のサーブから抜け出すと、その後もサーブで崩し、チャンスボールをしっかりと決めリードを広げる。秋田工業も櫻田のスパイクで応戦するも勢いを止めることができず雄物川が選手する。第2セット、齋藤の4連続サービスエースで流れに乗った雄物川はクイックを中心に得点を決め、秋田工業を引き離す。秋田工業はサーブレシーブを崩され、リズムを作ることができず、雄物川が連取。第3セットになっても雄物川の勢いは止まらず、序盤からリードを10点まで広げる。秋田工業は畠山のスパイクから相手ミスに乗じて点差を縮めるも、悪い流れを早坂が断ち切り、主導権をわたさない。最後まで早坂がスパイクを決めゲームセット。雄物川が22連覇を決めた。

戦評者：杉山 岳